



災害備えガスボックス 豊崎区、仲本プロパンと協定

【豊見城】豊見城市豊崎の仲本プロパン（仲本正社長）と豊崎地区自主防災組織（仲本豊会長）がこのほど、災害時におけるLPガス供給に関する協定書を結んだ＝写真（提供）。

災害時にガスボンベの運搬が困難になることを想定し、仲本プロパンが製作した「防災ガスボックス」を事前に設置することで、自治会などが保有する発電機や炊き出し釜と組み合わせて使用し、災害時の電力確保や食事提供を可能にする。地域レベルの防災対策を強化することがねらい。

仲本プロパンでは補助金制度などを活用し、災害に強い燃料供給システムの整備を進めてきた。仲本豊専務は「地域の防災力を高め、業界全体に広げていきたい」と話している。（田中芳）